

求人開拓事業にかかる実績評価について (平成20年度市場化テスト事業)

1 事業概要

- 雇用情勢が厳しい全国39地域で、求人を量的に確保するための求人開拓事業を実施。
うち2地域で市場化テストとしての民間競争入札を実施。

2 民間競争入札対象地域

- 北海道函館地域：(株)シグマテック（品川区）
- 青森東青地域：(株)シグマテック(*1)（品川区）

*1 平成19年度青森東青地域の受託事業者（株）東海道シグマは（株）シグマテックの関係会社。

3 民間実施地域の実績

(1) 開拓求人件数、開拓求人数、充足数

- 受託事業者は自ら設定した目標、実施要項上の目標に達せず。
- 高知中央地域に対する北海道函館地域の開拓求人数を除き、比較対象地域(*2)を下回った。

*2 北海道函館地域に対し青森津軽地域及び高知中央地域を、青森東青地域に対し青森三八地域を比較対象地域とし、国が事業を実施。

(2) 事業に要した経費

- 事業実施経費(*3)は、比較対象地域を上回り、特に開拓求人数及び開拓求人充足数の1人当たりでは大きく上回った。
なお、委託費よりも実際に要した経費が上回り、赤字経営となった。

*3 民間事業者が事業の実施に実際に要した経費（国の契約執行経費を含む。）。

4 国実施3地域(*4)の実績(平均)

- 開拓求人数を除く事業実績は、前年度を上回った。
- 事業実施経費は前年度を上回り、開拓求人数及び開拓求人充足数の1人当たりでも上回った。

*4 平成19年度及び20年度の両年度にわたり、20年度の民間実施地域と事業実施規模が同じ3地域（比較対象3地域）。

5 まとめ

(1) 平成20年度求人開拓事業の特徴

- 民間事業者とハローワークは良好な協力関係を構築し、円滑に事業を実施した。
- 総じて見ると民間実施地域は比較対象地域の実績を下回った。
- 青森東青地域は19年度受託事業者の関係会社が受託したため、蓄積したデータやノウハウを活用した「2年目」の効果が一定見られ、北海道函館地域にもそのノウハウは一部活かされたが、いずれの民間実施地域も国実施時の事業実績を下回った。

(2) 求人開拓事業を取り巻く状況

- 求人開拓事業は雇用失業情勢の急激な悪化に伴い、平成21年度補正予算で大幅に拡大されるなど雇用対策としての機動的かつ効果的な実施の重要性が一層高まっている。

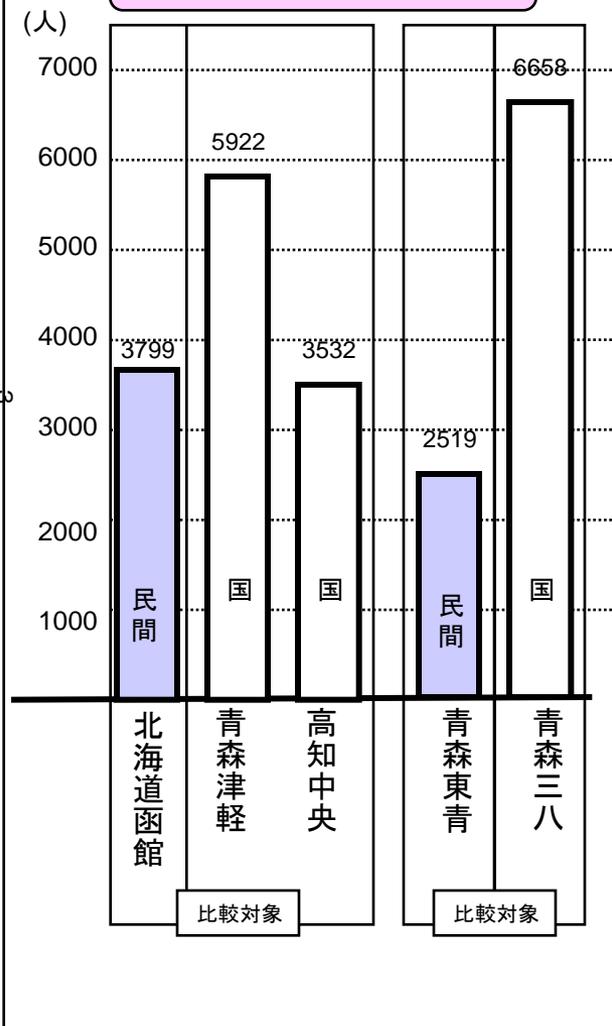
(3) 今後の対応

- 事業実績及び本事業の特性を鑑み、国が引き続き積極的に民間の人材を登用しつつ求人開拓事業を直接実施することが適当である。
その際、より良質かつ低廉な公共サービスの提供に最大限の努力が求められる。

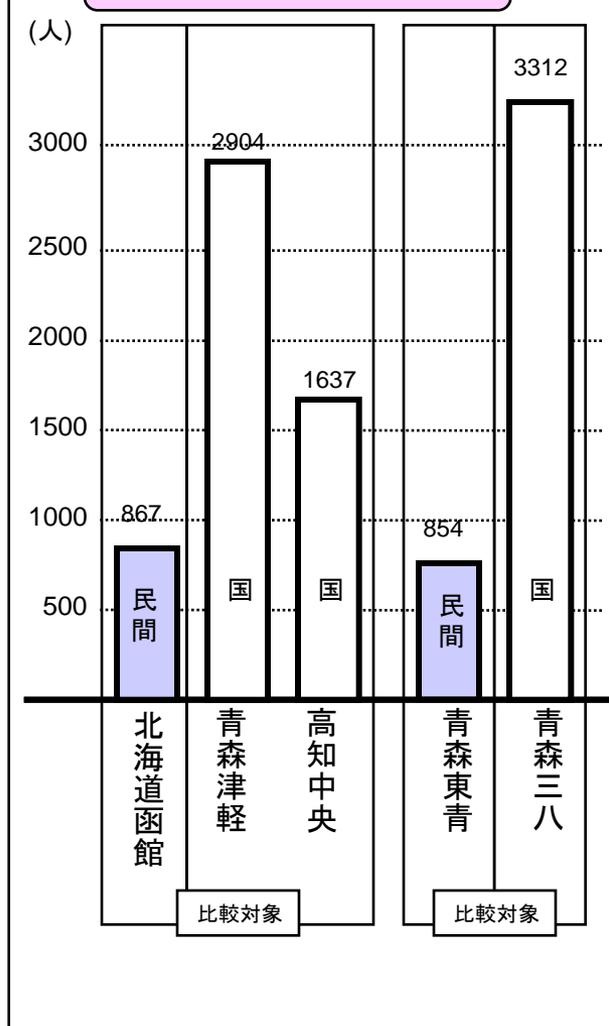
【民間実施地域と比較対象地域(国)の実績の比較】

- 開拓求人数、充足数等について、民間実施地域は国の比較対象地域を下回った(高知中央地域の開拓求人数を除く)。
- 充足数1人あたり経費等について、いずれも民間実施地域は国の比較対象地域を大きく上回った。

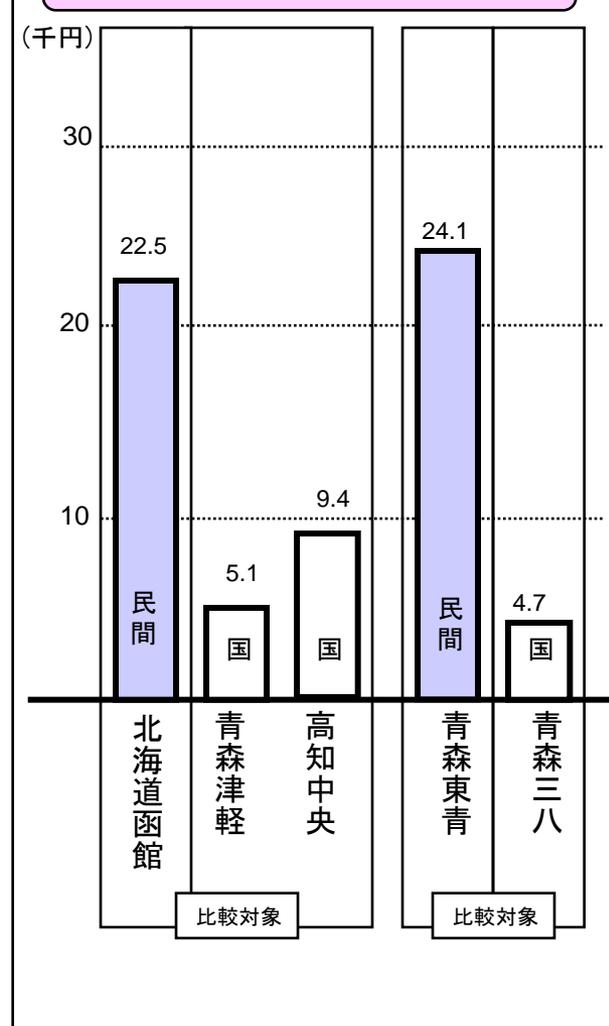
開拓求人数



充足数



充足数1人あたり経費

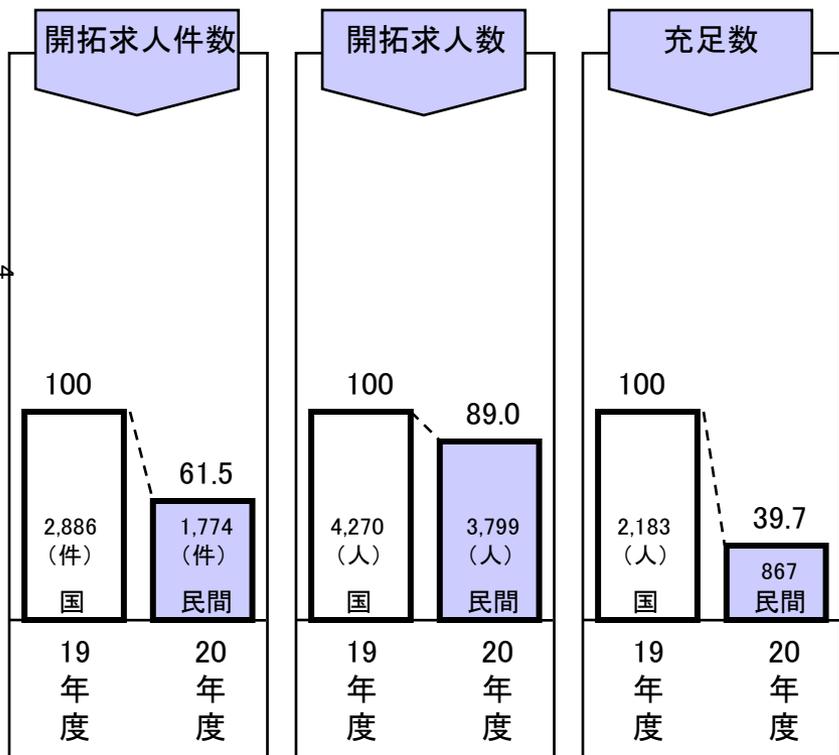


【民間実施地域における前年度及び国実施時との比較】

- 青森東青地域においては、「2年目」の効果が一定見られた。
- いずれの民間実施地域においても、国が実施していた時の事業実績を下回った。

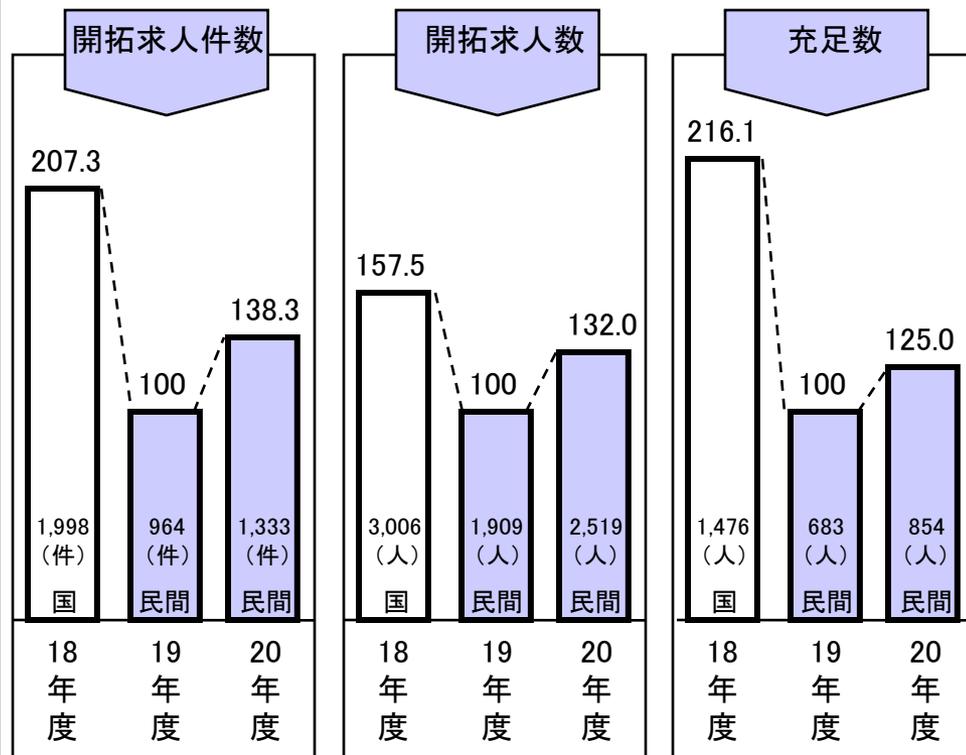
北海道函館地域

有効求人倍率
19年度:0.53倍
20年度:0.41倍



青森東青地域

有効求人倍率
18年度:0.43倍
19年度:0.48倍
20年度:0.35倍



※1 平成19年度=100

※2 平成19年度青森東青地域において市場化テストによる求人開拓事業を受託した株式会社東海道シグマは平成20年度求人開拓事業の受託事業者である株式会社シグマテックの関係会社である。

※3 平成18年度事業は平成18年6月から平成19年3月までの10か月、平成19年度事業及び平成20年度事業は12カ月と実施月数が異なる。このため、平成18年度の事業実績には、実際の実績に10分の12を乗じたものを用いている。